

(様式2)

令和2年度自己評価表

学校名 湯梨浜町立東郷小学校

校長名 本田 弘樹 印

1. 学校の教育目標

人間性豊かな心と自ら考え正しく判断できる力を培い、心身ともに健やかでたくましい児童の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

めざす子ども像	(1) 自ら学ぼうとする児童	めざす学校像	(1) 「自ら学ぶ力」を持つ児童を育てる学校	今年度の重点目標	◎経営の重点
	(2) 自分も友だちも大切にす児童		(2) 児童が安心してらせる学校		・「主体的、対話的で深い学び」により「自分の学びを高めようとする」児童の意欲向上の推進
	(3) 健康でたくましい児童		(3) ふるさとに誇りを持つ児童を育てる学校		・児童理解を深め、個々の児童に応じた支援の策定
	(4) ふるさとを大切にす児童		(4) 地域社会と連携し、信頼される学校		(1) 学ぶ意欲の向上と確かな学力の向上(学びの力づくり)
			(2) 支え合い高め合う人間関係づくり(豊かな心づくり)		
				(3) 健やかな体づくり(健康な体づくり)	
				(4) 地域に根ざし開かれた学校づくり	
				(5) 働き方改革の推進	

3. 年度当初の評価項目

評価項目	現状	めざす姿	具体的施策	評価方法
(1) 確かな学力の向上 学ば意欲の向上と	算数科・特別活動を中心とした授業改善の推進 ○学習課題に真剣に取り組む児童が多い。 ○児童相互に学び合い、教え合う姿が定着している。 ○自分に自信が持てず、周りの人の出方をうかがう面があり、はっきりと、相手を意識して話すことが苦手である。	○自己の思いや考えを豊かに表現できる児童 【主体的な学び】 ○仲間の思いや考えを共感的に受け止め、ともに磨き合える児童 【対話的・深い学び】	○『思いや考えを豊かに表現し、主体的に学び合う児童の育成』 ～対話が生まれる場の設定を工夫して～ ・ユニバーサルデザインの視点(視覚化・焦点化・共有化)を取り入れた授業改善を図る ・積極的に自信をもって発言できる児童、返事や共感を態度で示せる児童を育てるための教師の仕掛け・コーディネートに努める。 ・全教職員が研究授業を行い授業改善に努める。	○授業公開(随時) ○授業研究(全学級) ○児童アンケート ○学校公開アンケート ○NRT学力診断テストの正答率

(様式2)

評価項目		現状	めざす姿	具体的施策	評価方法
(2) 支え合い高め合う人間関係づくり	自分も友だちも大切に作る温かい人間関係にあふれた学級づくり	○生活や学習について、今の自分より少しでもよくしていこうとする意欲的な児童が多い。 ○自己有用感が低い児童がいる。	○学級の課題をみんなですべて解決していこうとする意欲と態度を持ち、お互いを高め合う学級づくりができる。	○児童の自治能力を育む特別活動の推進（話し合いスキルの向上） ○児童理解による安心感と自尊感情の醸成 ○hyper-QUの分析と活用の充実	○児童・保護者アンケートの肯定的評価 ○hyper-QUの活用と要支援群児童数の減少
	児童理解を深め、いじめや不登校が生じないような学校づくり	○相手の気持ちを考えた声かけや言葉遣いなどが少しずつできてきている。 ○自尊感情や社会性に課題のある児童がいる。	○豊かな心を持ち、命を大切に、自分の生き方を考えることができる。	○特別支援教育・生徒指導・教育相談の連携 ○スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等を活用した効果的なケース会議・関係者会議・支援会議の実施	○TSK（特別支援・生徒指導・教育相談の連携の会）の実施 ○特別支援学級や配慮を要する児童の保護者との懇談
(3) 健やかな体づくり	自分のめあてを持ち、継続して運動に取り組む意欲と安全意識の向上	○体育学習や業間運動などに意欲的に取り組む児童が多い。 ○好天の日でも校舎内で遊ぶ児童が多い。	○目標を持って体力づくりに励み、ともに伸びることを喜ぶことができる。	○体育学習や行事などで目標を持って取り組めるような指導に努める。 ○楽しく運動できる環境づくりを図る。 ○好天の日には外遊びを奨励する。 ○効果的な避難訓練や安全指導の計画・実施	○児童、保護者アンケートの肯定的評価 ○学校公開アンケートの肯定的評価
	望ましい生活習慣の形成	○多くの児童は、基本的な学校での生活習慣が身についてきているが、身につけていない児童がいる。	○自分自身の生活習慣を見直すことができる。	○SNSとのつきあい方などの保護者との連携 ○「明るくあいさつ元気よく・力いっぱい勉強・そうじは大事」をスローガンとする基本的生活習慣の定着化 ○コロナウイルス感染拡大予防対策の徹底	○児童、保護者アンケートの肯定的評価 ○保護者や学校保健委員会等との連携強化

(様式2)

(4) 地域に根ざし開かれた学校づくり	学校・家庭・地域との連携の推進	○学習参観、学校公開等の計画を立てている。 ○学校運営協議会を中心とした地域との連携を図っている。	○情報発信を積極的に行い、情報の共有ができる。	○学校運営協議会との連携 ○全職員参加による学校評価を中心とした学校運営協議会における熟議化 ○学校だよりや学級だより、ホームページを活用した積極的な情報発信	○学校運営協議会における授業公開 ○保護者アンケートの肯定的評価 ○各種たより等の発行、HPの掲載
	学校支援ボランティアの活用	○読み聞かせ、登下校支援など定期的な活動、環境整備等に活用している。	○よりきめ細やかな指導や安心安全な学校生活のために、地域の力を活用できる。	○学校運営協議会との連携 ○活動についての情報発信 ○教職員や子どものニーズの把握と調整	○各種コーディネーターとの連携
(5) 働き方改革の推進	時間外在校等時間の縮減	○生活時程の短縮、持ち時間の縮減により教材研究の時間を保障し、教育の質を維持するよう配慮した。 ○時間外在校等時間が80時間を超える職員がいる。	○全職員が上限時間を超えない。(1か月の時間外の上限が45時間、年間の上限が360時間)	○行事の見直し ○職務能率の見直しとその提案・工夫の推奨	○毎月の時間外在校等時間の把握と面談 ○校内衛生委員会の開催